

元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール

報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 1回生 北原 聖也

今から8月16日～22日に参加した2015年国際交流サマースクールの活動報告をします。

海外に行くことの良さは、文化の違い・現地の匂い・人の暮らしを五感で感じられることだと思います。私は数回海外に行ったことがありますが、台湾に行ったのは今回が初めてで、驚いたことがあります。切実に感じたのはトイレ事情です。日本は、衛生的なトイレで綺麗に保っていることが当たり前となっていますが、台湾ではトイレトーパーは水に流せず、そのままトイレ内のごみ箱に捨てるそうです。日本で当たり前のことが海外では違うことに、驚きと面白さを感じます。



台湾の学生たちは積極的に優しく接してくれました。大学内で共に講義を受け、学外では私たちと一緒に病院見学や観光面で行動し、ホテルでも夜はみんなで遊んで楽しい時間を過ごしました。

台安医院の病院食は、野菜のみの献立で作られており、治療だけでなく予防や健康促進、特に生活習慣改善にも力を入れるように病

院内にジムが併設されていました。海外からの患者さんに対応するために、英語や日本語が話せる医療従事者が多く存在し、言語環境が整っていました。私は、まだ一回生なので病院内の機器の説明を聞いても分からないことが多々ありました。しかし、これからより深く医療について学んでいくことで、日本と台湾における医療施設の違いなどが分かってくると思います。



今回のサマースクールでは、将来生きことを学ぶことができました。メンバー全員で協力しみんなで良い思い出を作っていくこと、言語が異なっても伝えようと努力することなど、多くのことを学び大切な経験をしたと感じています。日本にとどまるのではなく海外との交流をすることで視野が広がりました。とてもハードなスケジュールでしたが、充実した日々を過ごしました。

最後に学長をはじめとするサマースクールにおいてサポート下さった先生方、引率の石垣先生、メンバー、家族に感謝いたします。